

100th Anniversary 1924-2024 設立100年記念  
地域の福祉・医療への更なる貢献



社会福祉法人  
同愛記念病院財団

*Social Welfare Juridical Person  
The Fraternity Memorial Hospital Foundation*

### 財団法人 同愛記念病院財団の設立

大正12年（1923年）9月1日関東大震災に際し、ウッズ駐日米国大使は、本国政府に被災の詳細を報告するとともに迅速な救援を申し出ました。これに対してクーリッジ大統領は国民に支援を呼びかける教書を発表し、以後米国赤十字社が中心となって救援金品を募ったところ、多額の義援金が集まりました。

義捐金を受け取った日本政府は、米国民の深厚な同情と友愛とを永遠に記念すべく、約700万円を割いて被災中心地域に被災民及び一般貧困者を救援するための病院を創設することとし、大正13年（1924年）4月28日内務大臣が中心となって財団法人同愛記念病院財団を設立しました。

財団法人同愛記念病院財団（旧財団）の設立時の基本方針は次の通り。

- 一. 病院は一般病院とすること。
- 二. 診療は無料を原則とすること。
- 三. 総資金の内、3百万円は創設費とし、残額は運営資金とすること。
- 四. 病院の位置は、震災中心地区の本所深川方面とすること。
- 五. 名誉会長には駐日米国大使を推薦すること。

病院建設地は震災時に死者3万人以上を出し最も悲惨を極めたとされる陸軍被服廠跡に近接する現在地（安田邸跡）に決定、大正14年12月着工。完成後昭和4年（1929年）6月15日東京同愛記念病院として診療を開始しました。

### 日本医療団への合併及び病院施設の接収

昭和17年（1942年）政府により日本医療団が創設。旧財団は昭和20年（1945年）3月31日解散、翌4月1日日本医療団に統合。東京同愛記念病院は日本医療団中央病院として戦災者の医療救護にあたりました。

終戦後、昭和20年10月21日土地建物及び動産一切が占領軍に接収され、両国橋河畔の仮設小病院（旧佐々木病院）に移り細々ながら医療救護活動を継続しました。

### 社会福祉法人同愛記念病院財団の設立以降

昭和30年（1955年）	2月24日	旧職員を含む職員の再建活動があり、現社会福祉法人同愛記念病院財団設立が認可。
	同年 3月22日	設立。
	同年 10月17日	接収解除。
翌31年（1956年）	4月16日	現在地にて同愛記念病院として診療再開。
昭和51年（1976年）	12月27日	同愛記念病院新病棟（延床面積 9,216.01㎡）竣工。
昭和62年（1987年）	9月30日	同愛記念病院新診療棟（延床面積 9,794.78㎡）竣工。
平成2年（1990年）	3月31日	東京都知事より特別養護老人ホーム同愛記念ホーム設置認可。
	同年 4月1日	開設。
平成14年（2002年）	9月18日	同愛記念病院新管理棟（延床面積 6,999.44㎡）竣工。
平成16年（2004年）	1月21日	同愛記念病院診療棟増築（延床面積 9,794.78㎡→9,925.48㎡）。
平成30年（2018年）	1月12日	「同愛記念病院新棟建設基本構想・基本計画」理事会・評議員会承認
平成31年（2019年）	3月22日	同愛記念病院整備計画（新棟建設）工事請負契約締結
令和2年（2020年）	4月1日	新棟建設本工事着手
令和3年（2021年）	4月1日	エントランス棟着工
令和4年（2022年）	7月28日	中央棟・エントランス棟竣工
令和4年（2022年）	8月29日	中央棟・エントランス棟使用開始
令和5年（2023年）	7月31日	診療棟改修・旧病棟解体工事終了
	同年 10月31日	外構整備工事終了
	同年 11月1日	新病院グランドオープン（中央棟・診療棟・管理棟・エントランス棟）

### 令和5年(2023年)11月 新病院グランドオープン

#### 中央棟

・竣工 2022年7月28日	・地上12階建て
・延床面積 16,270.42㎡	・免震構造
12階 屋上/エネルギーセンター	
5~11階 病棟	
4階 手術室	
3階 薬剤・栄養管理・エネルギーセンター	
2階 医事・サーバー室	
1階 出入口・霊安室/柱頭免震装置	

#### エントランス棟

・竣工 2022年7月28日	・地上4階建て
・延床面積 849.59㎡	・鉄骨造
・耐震構造	
4階 屋上	
3階 保育園	
2階 コンビニエンスストア(セブンイレブン)	
1階 病院出入口(エスカレーターで中央棟2階へ)/薬局	

#### 診療棟(改修)

・竣工 2023年7月31日	・地上5階建て
・延床面積 9,925.48㎡	・鉄筋コンクリート造
5階 リハビリテーション科/ 健診センター/内視鏡センター	
4階 透析室	
3階 外科系	
2階 内科系/整形外科	
1階 小児科/急患室	





病院正面玄関  
(昭和4年(1929年)から59年間使用)



病棟・診療棟・管理棟・同愛記念ホーム・さざなみ寮  
(平成19年(2007年)～平成31年(2019年))

### 財団法人同愛記念病院財団

#### 大正13年

会長 ● 水野 鎌太郎(内務大臣)  
理事長 ● 井上 孝哉(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 大正14年

会長 ● 若槻 禮次郎(内務大臣)  
理事長 ● 湯浅 倉平(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 大正15年(昭和元年)

会長 ● 浜口 雄幸(内務大臣)  
理事長 ● 川崎 卓吉(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和2年

会長 ● 鈴木 喜三郎(内務大臣)  
理事長 ● 安河内 麻吉(内務次官)  
杉山 四五郎(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和3年

会長 ● 田中 義一(内務大臣)  
望月 圭介(内務大臣)  
理事長 ● 潮 恵之輔(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和4年～5年

会長 ● 安達 謙蔵(内務大臣)  
理事長 ● 潮 恵之輔(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和6年

会長 ● 安達 謙蔵(内務大臣)  
中橋 徳五郎(内務大臣)  
理事長 ● 潮 恵之輔(内務次官)  
次田 火三郎(内務大臣)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和7年

会長 ● 犬養 毅(内務大臣)  
鈴木 喜三郎(内務大臣)  
山本 達雄(内務大臣)  
理事長 ● 湯浅 倉平(内務次官)  
河原田 稼吉(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和8年

会長 ● 山本 達雄(内務大臣)  
理事長 ● 河和田 稼吉(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和9年

会長 ● 山本 達雄(内務大臣)  
後藤 文夫(内務大臣)  
理事長 ● 丹波 七郎(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和10年

会長 ● 後藤 文夫(内務大臣)  
理事長 ● 丹波 七郎(内務次官)  
赤木 朝治(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和11年

会長 ● 山本 達雄(内務大臣)  
潮 恵之輔(内務大臣)  
理事長 ● 赤木 朝治(内務次官)  
湯沢 三干男(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和12年

会長 ● 潮 恵之輔(内務大臣)  
河原田 稼吉(内務大臣)  
理事長 ● 湯沢 三干男(内務次官)  
篠原 英太郎(内務次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和13年

会長 ● 河原田 稼吉(内務大臣)  
木戸 孝一(厚生大臣)  
理事長 ● 廣瀬 久忠(厚生次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和14年

会長 ● 廣瀬 久忠(厚生大臣)  
小原 直(厚生大臣)  
秋田 清(厚生大臣)  
理事長 ● 岡田 文秀(厚生次官)  
林 信夫(衛生局長)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和15年

会長 ● 吉田 茂(厚生大臣)  
安井 英二(厚生大臣)  
金光 康夫(厚生大臣)  
理事長 ● 岡田 文秀(厚生次官)  
児玉 政介(厚生次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和16年

会長 ● 金光 康夫(厚生大臣)  
小泉 親彦(厚生大臣)  
理事長 ● 児玉 政介(厚生次官)  
武井 群嗣(厚生次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和17～18年

会長 ● 小泉 親彦(厚生大臣)  
理事長 ● 武井 群嗣(厚生次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和19年

会長 ● 小泉 親彦(厚生大臣)  
理事長 ● 武井 群嗣(厚生次官)  
相川 勝六(厚生次官)  
院長 ● 三浦 謹之助

#### 昭和20年

会長 ● 相川 勝六(厚生大臣)  
岡田 忠彦(厚生大臣)  
松村 謙三(厚生大臣)  
芦田 均(厚生大臣)  
理事長 ● 中村 啓之進(厚生次官)  
亀山 孝一(厚生次官)  
院長 ● 三浦 謹之助  
高杉 新一郎

### 社会福祉法人同愛記念病院財団

#### 昭和30年～38年

会長 ● 赤木 朝治  
理事長 ● 亀山 孝一  
院長 ● 三澤 敬義

#### 昭和39年～44年

会長 ● ——  
理事長 ● 亀山 孝一  
院長 ● 三澤 敬義

#### 昭和45年～47年

会長 ● ——  
理事長 ● 亀山 孝一  
院長 ● 佐分利 六郎

#### 昭和48年～54年

会長 ● 亀山 孝一  
理事長 ● 久下 勝次  
院長 ● 佐分利 六郎

#### 昭和55年～57年

会長 ● ——  
理事長 ● 久下 勝次  
院長 ● 佐分利 六郎

#### 昭和58年～62年

会長 ● 久下 勝次  
理事長 ● 今村 譲  
院長 ● 佐分利 六郎

#### 昭和63年～平成元年

会長 ● 久下 勝次  
理事長 ● 今村 譲  
院長 ● 齊藤 泰弘

#### 平成2年

会長 ● 久下 勝次  
理事長 ● 今村 譲  
院長 ● 齊藤 泰弘  
施設長 ● 大石 一夫

#### 平成3年～6年

会長 ● 久下 勝次  
理事長 ● 今村 譲  
院長 ● 齊藤 泰弘  
施設長 ● 清水 利祐

#### 平成7年

会長 ● 久下 勝次  
理事長 ● 今村 譲  
院長 ● 齊藤 泰弘  
施設長 ● 安江 弘光

#### 平成8年

会長 ● ——  
理事長 ● 今村 譲  
院長 ● 齊藤 泰弘  
施設長 ● 安江 弘光

#### 平成9年

会長 ● 牛丸 義留  
理事長 ● 今村 譲  
院長 ● 伊藤 幸治  
施設長 ● 清水 利祐

#### 平成10年

会長 ● 牛丸 義留  
理事長 ● 石野 清治  
院長 ● 伊藤 幸治  
施設長 ● 清水 利祐

#### 平成11年

会長 ● 牛丸 義留  
理事長 ● 石野 清治  
院長 ● 伊藤 幸治  
施設長 ● 長谷川 恵宏

#### 平成12年

会長 ● 牛丸 義留  
理事長 ● 石野 清治  
院長 ● 加藤 裕一  
施設長 ● 長谷川 恵宏

#### 平成13年～16年

会長 ● 牛丸 義留  
理事長 ● 石野 清治  
院長 ● 加藤 裕一  
施設長 ● 竹内 憲正

#### 平成17年～18年

会長 ● 石野 清治  
理事長 ● 森 仁美  
院長 ● 加藤 裕一  
施設長 ● 竹内 憲正

#### 平成19年～23年

会長 ● 石野 清治  
理事長 ● 森 仁美  
院長 ● 河村 毅  
施設長 ● 竹内 憲正

#### 平成24年～26年

会長 ● 石野 清治  
理事長 ● 森 仁美  
院長 ● 土屋 正光  
施設長 ● 竹内 憲正

#### 平成27年～28年

会長 ● 石野 清治  
理事長 ● 森 仁美  
院長 ● 土屋 正光  
施設長 ● 森重 賢治

#### 平成29年～31年

会長 ● 森 仁美  
理事長 ● 小林 和弘  
院長 ● 前田 守  
施設長 ● 森重 賢治

#### 令和元年～令和2年10月

会長 ● 森 仁美  
理事長 ● 小林 和弘  
院長 ● 前田 守  
施設長 ● 西村 茂

#### 令和2年11月～令和5年6月

会長 ● 森 仁美  
理事長 ● 小林 和弘  
院長 ● 平野 美和  
施設長 ● 西村 茂

#### 令和5年6月～

会長 ● 森 仁美  
理事長 ● 小林 和弘  
院長 ● 平野 美和  
施設長 ● 工藤 裕司

### 沿革

昭和31年	4月16日	社会福祉法に基づく第2種社会福祉事業施設であり、無料低額診療事業を実施する病院として当地にて診療再開。
昭和51年	12月27日	地下1階地上9階の新病棟竣工。
昭和62年	9月30日	地下1階地上6階の新診療棟竣工。 外来部門、検査科、放射線科、中央手術室、薬剤科及び一部事務部門収容。
平成14年	9月18日	地上7階の新管理棟竣工。 療養病床30床及び事務部門収容。
平成16年	1月1日	東京都指定二次救急医療機関に指定。
平成17年	11月1日	「すみだ平日夜間救急こどもクリニック」(墨田区委託事業)開始。
平成20年	10月1日	全科院外処方移行。
平成21年	7月1日	DPC病院移行。
平成23年	10月2日	電子カルテ導入。
平成25年	4月1日	東京都CCUネットワーク加盟。
平成31年	3月23日	新棟建設着工。
令和元年	9月30日	新立体駐車場竣工。
令和2年	4月1日	新棟建設本工事着手
令和3年	4月1日	エントランス棟着工
令和4年	7月28日	中央棟・エントランス棟竣工
令和4年	8月29日	中央棟・エントランス棟使用開始
令和5年	7月31日	診療棟改修・旧病棟解体工事終了
令和5年	10月31日	外構整備工事終了
令和5年	11月1日	新病院グランドオープン(中央棟・診療棟・管理棟・エントランス棟)

### 病院の理念

同愛記念病院は地域の要請をふまえ地区の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献します。

### 病院運営基本方針

- 私たちは、次により地区の基幹病院としての役割を果たしてまいります。
- 1 地域に密着した救急医療及び「すみだ平日夜間救急こどもクリニック」を行います。
  - 2 医療機関、施設、医師会等との連携を推進し、地域の医療及び、福祉サービスの充実と向上に貢献します。
  - 3 患者さんの権利を尊重し、インフォームドコンセントを充実させ、患者さんに寄りそった医療を行います。
  - 4 職員は絶えず自己研鑽を行いより高い専門性を発揮できるよう努めます。
  - 5 医療安全対策を強化し、信頼される医療を行います。
  - 6 医療を通じて社会貢献を継続するために健全な病院運営を行います。

### 患者さんの権利

- 1 個人として尊重され、良質な医療を平等に受けることができます。
- 2 心身の状況や検査治療の方針及び治療方法など、十分な説明と情報提供を受けることができます。
- 3 自己の意思で検査や治療方法を選択し、決定することができます。
- 4 自らの医療情報の開示や他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 5 個人情報やプライバシーが厳重に守られます。
- 6 子どもの患者さんも一人の人間として尊重され大人と同じ権利があります。
- 7 子どもが、自分の健康や診療について自分の意思決定ができないときは、代わってご家族(保護者)に決めてもらうことができます。

### 患者さんへのお願い

- 1 健康・疾病に関する情報をできるだけ正確にお聞かせください。
- 2 医療に関する説明がよく理解できなかった場合は、十分理解できるまで質問してください。
- 3 社会的ルールや病院のルール及び職員からの注意事項をお守りのうえ、スムーズな診療にご協力ください。  
なお、飲酒している場合、暴力暴言があった場合、セクシャルハラスメント・ストーカー行為があった場合は、診療をお断りし院外に退去していただきます。
- 4 医療費の請求を受けた場合は、速やかにお支払いください。

### 看護部の理念

地域の使命をうけて地域住民、および福祉サービスを必要とする方に、公平な医療を提供することを基本とし、常に優しく思いやりのある患者さま中心の看護サービスを行う。

### 看護目標

- 1 患者様の人権を尊重した看護を行う
- 2 看護過程を展開し、責任のある継続した看護を行う
- 3 安全・安楽な環境を整えて、事故防止に努める
- 4 看護技術の向上、業務の改善、院内教育に努める
- 5 他部門との協力体制を整える
- 6 地域住民の健康増進のために、積極的に教育活動する
- 7 経済的、能率的な効率良い看護を提供する

### 病院概要

敷地面積	13,880.95㎡
中央棟/竣工	令和4年7月28日
延床面積	16,270.42㎡
エントランス棟/竣工	令和4年7月28日
延床面積	849.59㎡
診療棟/竣工	昭和62年9月30日
延床面積	9,925.48㎡
管理棟/竣工	平成14年9月18日
延床面積	6,999.44㎡
許可病床数	360床(一般病床330床、療養病床30床)
外来患者数	669.2人(令和5年度)
職員数	585名(令和6年1月1日)

### 標榜診療科

内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、リウマチ科、アレルギー科、精神科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科

### 病院機能

- ・一般病床330床(中央棟5階~11階)(令和4年8月29日より)  
個室76床、4床室224床、HCU24床、LDR2床、ICU4床
- ・療養病床30床(管理棟7階)  
特別個室2床、個室12床、4床室16床
- ・手術室(中央棟4階)  
7室
- ・透析室(診療棟4階)  
20床



- ・内視鏡センター（診療棟5階）  
内視鏡室3室、内視鏡透視室1室、  
患者専用トイレ、更衣室、回復室
- ・健診センター（診療棟5階）  
人間ドック、特定健診、企業健診、  
墨田区健診

## 施設基準届出状況 (2024年4月1日現在)

- ・基本診療科
  - 一般病棟入院基本料1
  - 療養病棟入院基本料1
  - 救急医療管理加算
  - 診療録管理体制加算1
  - 補助体制加算
  - 医師事務作業補助体制加算2 (50対1)  
〔療養病棟〕
  - 急性期看護補助体制加算 (50対1)
  - 看護職員夜間配置加算 (12対1配置加算2)
  - 重症者等療養環境特別加算
  - 無菌治療室管理加算1
  - 栄養サポートチーム加算
  - 療養病棟療養環境加算1
  - 病棟薬剤業務実施加算1・2
  - 医療安全対策加算1/医療安全対策地域  
連携加算1
  - 感染対策向上加算1/指導強化加算
  - 患者サポート体制充実加算
  - 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
  - ハイリスク妊娠管理加算
  - ハイリスク分娩等管理加算/ハイリスク分  
娩管理加算、地域連携分娩管理加算
  - 後発医薬品使用体制加算1
  - データ提出加算2
  - 入退院支援加算2/入院時支援加算
  - 認知症ケア加算2
  - せん妄ハイリスク患者ケア加算
  - 地域医療体制確保加算
  - 排尿自立支援加算
  - ハイケアユニット入院医療管理料1
  - 小児入院医療管理料4
  - 重症患者初期支援充実加算
  - 早期離床・リハビリテーション加算  
(ハイケアユニット入院医療管理料1)
  - 早期栄養介入管理加算  
(ハイケアユニット入院医療管理料1)
  - 看護職員処遇改善評価料 52
- ・特掲診療科
  - 遠隔モニタリング加算 (ペースメーカー  
指導管理料)
  - 喘息治療管理料
  - がん性疼痛緩和指導管理料
  - がん患者指導管理料イ・ロ・ハ
  - 婦人科特定疾患治療管理料
  - 地域連携小児夜間・休日診療料1
  - 院内トリアージ実施料
  - 夜間休日救急搬送医学管理料・救急搬送  
看護体制加算
  - ニコチン依存症管理料
  - 肝炎インターフェロン治療計画料
  - 薬剤管理指導料
  - 医療機器安全管理料1

- 持続血糖測定器加算1
- 遺伝学的検査
- 骨髄微小残存病変量測定
- HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易  
ジェノタイプ判定)
- 検体検査管理加算 (I) (IV)
- 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- 皮下連続式グルコース測定
- 小児食物アレルギー負荷試験
- 内服・点滴誘発試験
- センチネルリンパ節生検 (単独) (併用)
- CT透視下気管支鏡検査加算
- 画像診断管理加算1、2
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 心臓MRI撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料 (I)
- 脳血管疾患リハビリテーション料 (I)
- 運動器リハビリテーション料 (I)
- 呼吸器リハビリテーション料 (I)
- エタノールの局所注入 (甲状腺・副甲状腺)
- 人工腎臓 慢性維持透析1 導入期加算1
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析  
濾過加算
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- 乳がんセンチネルリンパ節加算1・2
- 仙骨神経刺激装置埋込術及び仙骨神経  
刺激装置交換術 (便過活動膀胱)
- 経皮的冠動脈形成術
- 経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテル)
- 植込型心電図記録計移植術
- 植込型心電図記録計摘出術
- ペースメーカー移植術 ペースメーカー交換術
- 大動脈バルーンパンピング法
- 体外衝撃波 腎・尿管結石破砕術
- 体外衝撃波胆石破砕術
- 膀胱水圧拡張術 ハンナ型間質性膀胱炎  
手術 (経尿道)
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用  
支援機器)
- 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 (内視鏡手術  
用支援機器)
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手  
術用支援機器)
- 腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下腎盂形成術 (内視鏡手術用支援  
機器)
- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (後腹膜)
- 腹腔鏡下腔式子宮全摘術 (内視鏡手術用  
支援機器)
- 人工肛門、人工膀胱増設術前処置加算
- 胃瘻造設術
- 胃瘻増設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料I・II
- 病理診断管理加算1
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 在宅療養後方支援病院

- 輸血管理料II・輸血適正使用加算
- 糖尿病合併症管理料
- 外来排尿自立指導料
- 外来緩和ケア管理料
- がん治療連携指導料
- 療養・就労両立支援指導料の注3に規定  
する相談支援加算
- 一般不妊治療管理料
- 二次性骨折予防継続管理料1・3
- バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
- 緊急整備固定加算及び緊急挿入加算
- 外来腫瘍化学療法診療料1・連携充実加算
- 腎代替療法指導管理料
- 経気管支凍結生検法
- 下肢創傷処置管理料
- 臨床研修病院入院診療加算
- 重症皮膚潰瘍管理加算
- 緑内障手術 水晶体再建術併用眼内ドレーン  
挿入術
- 緑内障手術 濾過再建術 (needle法)
- BRCA1/2遺伝子検査 血液を検体とするもの
- 前立腺針生検法 MRI撮影及び超音波検査  
融合画像によるもの
- 導入期加算2及び腎代替療法実績加算
- 内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術
- 紹介受診重点医療機関

## 認定施設等 (2024年3月1日現在)

- 地域医療支援病院
- 臨床研修指定病院
- 病院機能評価認定 (一般病院2)
- 日本内科学会認定教育施設
- 日本血液学会研修施設
- 日本循環器学会指定循環器専門医研修施設
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本肝臓学会専門医制度認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本外科学会認定医制度修練施設
- 日本大腸肛門病学会専門医修練施設
- 日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- 日本形成外科学会教育関連施設
- 日本アレルギー学会認定教育施設
- 日本呼吸器学会認定教育施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本皮膚科学会認定医研修施設
- 日本小児科学会専門医研修施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度卒業研修  
指導施設
- 東京都医師会母体保護法指導医師研修指定  
医療機関
- 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医研修施設
- 日本病理学会研修認定施設
- 日本臨床細胞学会研修認定施設
- 日本麻酔学会認定病院
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本リハビリテーション医学会研修施設
- 厚生労働省薬剤師実務研修事業の研修生  
受入施設
- 日本女性医学学会専門医制度認定研修施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設

# 同愛記念ホーム

The Fraternity Memorial Home



## 沿革

地元墨田区をはじめ各方面の強い要望により、特別養護老人ホームを敷地内に建設し、平成2年4月1日から事業（同愛記念ホーム）を開始しました。併設事業として、短期入所生活介護事業所（ショートステイ）、通所介護事業所（デイサービス）を設置。

平成8年4月1日より墨田区の委託により、在宅介護支援センター事業を開始しました。

平成12年4月1日には、介護保険の導入により、特養ホーム等は介護老人福祉施設等へ切り替えるとともに、新たに同愛記念指定居宅介護支援事業所を発足させました。

平成18年4月1日の介護保険法改正により、ショートステイに介護予防短期入所生活介護事業、デイサービスに介護予防通所介護事業を新たに開始しました。また、従来の在宅介護支援センターを廃止し、同愛地域包括支援センター（含・介護予防支援事業）を創設しました。

平成23年4月1日、墨田区の委託により、同愛高齢者みまもり相談室を設置しました。

## 基本方針と重点

当施設は、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、地域包括支援センター、高齢者みまもり相談室、居宅介護支援事業所の6事業を運営する高齢者介護施設及び総合相談センターです。基本方針としては、上質な介護と快適な生活を提供するとともに、地域に密着したよろず相談窓口として運営することとしております。

特に、特別養護老人ホームは、施設サービス計画に基づき、入浴・排泄・食事の介助、相談援助、機能訓練、健康管理等の世話をを行うことにより、利用者がその有する能力に応じた日常生活を営むことができるようにすることを目指すものとします。また、ユニットケアの考え方を取り入れ、主体的な生活を支えるケアを実践します。

## 理念

利用者と一緒に  
“生活の場”を築きます



その人らしさを大切に  
“個別ケア”を実践します

“地域社会から信頼される  
施設”を目指します

## 概要

特別養護老人ホーム同愛記念ホーム

[介護老人福祉施設] 100名

短期入所事業 同愛記念ホーム

(ショートステイ)

[短期入所生活介護] 併設型9名 空床型10名

高齢者在宅サービスセンター同愛記念ホーム

(デイサービス)

[通所介護] 1日35名

同愛地域包括支援センター(墨田区委託事業)

(同愛高齢者支援総合センター)

同愛高齢者みまもり相談室(墨田区委託事業)

同愛記念指定居宅介護支援事業所

## 建物の概要

竣工	平成2年3月
建設面積	4,744.00㎡
構造規模	鉄骨・鉄筋コンクリート6階建



正面玄関



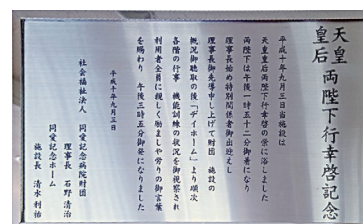
デイサービス送迎車



同愛地域包括支援センター

## 天皇皇后両陛下下行幸啓

平成10年（1998年）9月3日、当施設は、天皇皇后両陛下下行幸啓の栄に浴しました。両陛下は、午後1時52分に御着になり、理事長始め、特別関係者が御出迎えし、理事長御先導申し上げて、財団施設の概況を御聴取の後、「デイホーム」より順次各階の行事、機能訓練の状況を御視察され、利用者全員に親しく励ましや労いの御言葉を賜り、午後3時5分御発になりました。（現在の上皇上皇后陛下）

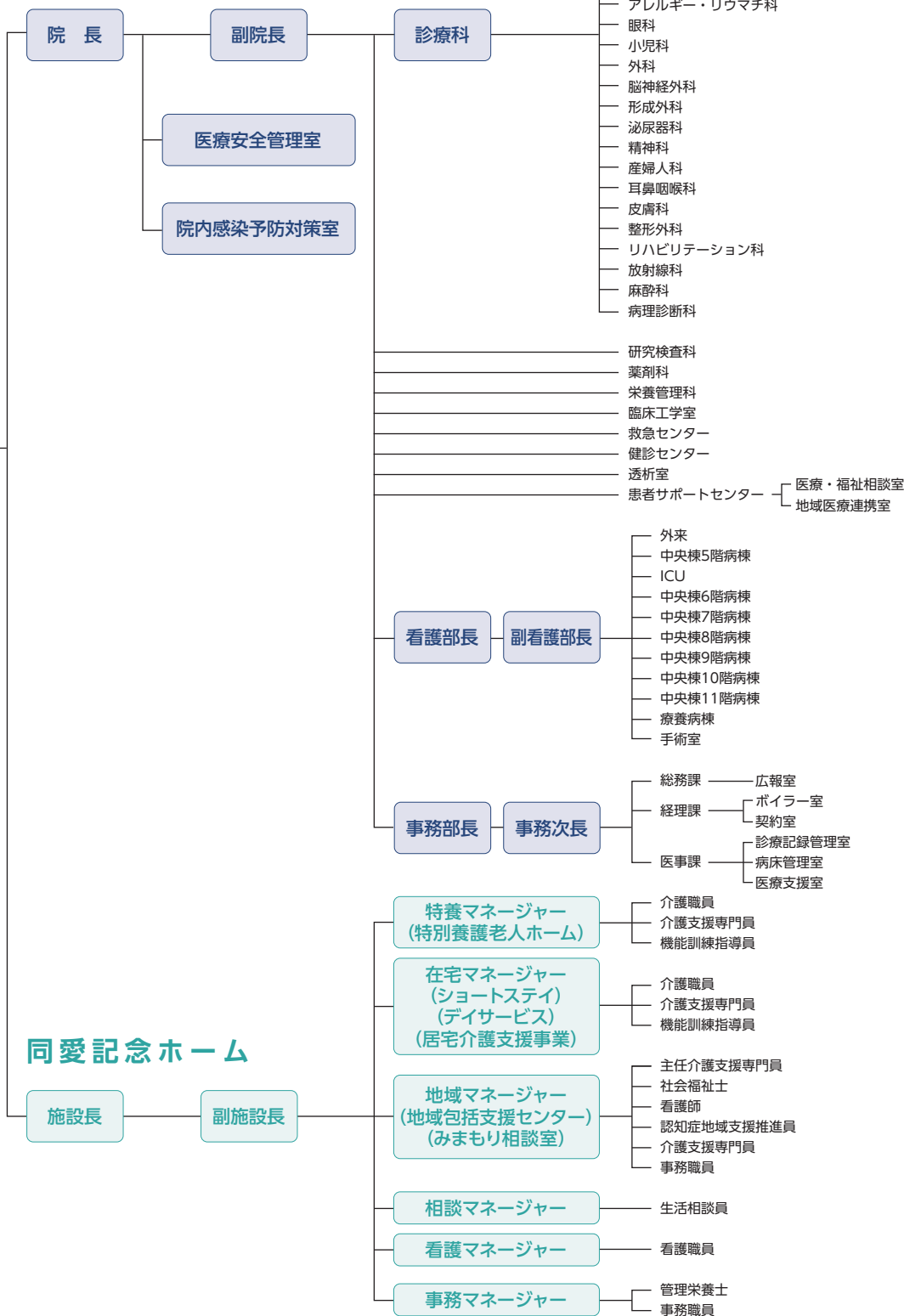


行幸啓記念プレート



社会福祉法人同愛記念病院財団

## 同愛記念病院



(2024年4月1日現在)

## 交通アクセス

- JR総武線「両国駅」から徒歩7分
- 都営地下鉄大江戸線「両国駅」から徒歩5分
- 都営地下鉄浅草線「蔵前駅」から徒歩10分



### 同愛記念病院

〒130-8587  
東京都墨田区横網2-1-11  
TEL: 0570-200-678 (代)  
FAX: 03-5608-3211



### 同愛記念ホーム

〒130-8587  
東京都墨田区横網2-1-11  
TEL: 03-3625-6391 (代)  
FAX: 03-5608-3239

